

学力向上推進地域 十日市中学校区 研究のまとめ (十日市中学校・十日市小学校・栗屋小学校・酒河小学校)

○9年間の系統的なノート指導

各種学力調査において、母集団平均を下回っていた十日市中学校では、三次市のオリジナルカリキュラムとして全教科でノート指導に取り組み、「思考力・表現力・自己学習力」の向上を目指しました。中学校での取組を小学校にも広げ、校区全体で小中9年間のノート指導を系統的に行っています。



系統的なノート指導

すでに取り組んでいたノート指導をこの事業でも継続することで充実を図ることができ、職員の立場からも何をしたらよいのか分かりやすかったです。

先生の声



小中をつなぐ
オリジナル
カリキュラム

学び方を身に付ける

学校で

家庭で

主体的な学びによる学力向上

十日市中学校区の取組の詳細やオリジナルカリキュラムはこちら!

<http://www.school.miyoshi.hiroshima.jp/junior/tokaichi-/m134/>



先生の声

ノート指導はどんな規模の学校でも取り組みやすいです。また、ノートに自分の考えを書く、友達の意見や先生のアドバイスを書くことで、協同学習の充実にもつながりました。

○家庭学習を自分で計画する「パワーアップ週間」

中学校で行っている試験前に自分で学習の計画を立てる取組を小学校でも取り入れることができました。学校の規模に合わせて全体で取り組んだり、高学年で取り組んだり対象を決めました。家庭でも学習の様子を把握してもらえます。おススメの取組です!

学習に関する目標を自分で決めることができるようになりました!

児童生徒の声

自分で決めた目標だから、達成しよう頑張りました!

自主的に学習する姿が見られるようになりました。そんな姿をほめる機会もでき、親子で喜ぶことができました。

保護者の声

○授業とつながる自主学習ノート

授業と家庭学習をつなぐ自主学習ノートに取り組み、家庭での頑張りを伸ばすことができました。各自が工夫した自主学習ノートは右の写真のように交流し、質の高まりも見られました。

先生の声

自主学習は好きではなかったけど、他の人を見てマネしたいことがいっぱいあって、次を早くやってみたいと思いました!

児童生徒の声

先生の声

異年齢グループにより全校で自主学習ノートを交流



掲示による交流。他の学校のノートも紹介しています。



○学びを深め合う協同学習 ~ノート指導でさらに充実!~



先生の声

ノート指導と同じくらい焦点を当てたのが協同学習です。ノート指導でポイントやキーワード、自分の考えや友達の考えを書き留めたりまとめたりできるようになってきたことで、協同学習も充実してきました。自分の考えを語り他者の考えに学ぶ場となる協同学習は、個への手立てとしても有効です!

学習者主体の授業改善にもつながりました。

他の人の考えを聞くことができたり、自分の考えを聞いてもらえたりして、安心して発言できるようになりました。

児童生徒の声



○学びを確かなものにする振り返り

〈振り返りの視点の例〉・この学習で新たに身に付けた読み方や表現の効果は何ですか。・他の人と意見交流をすることで自分の考えはどう変わりましたか。

視点を明確に示した上で振り返りを書かせることで、単元で付けた力が定着したかどうかを把握することができ、指導と評価の一体化につながりました。

協同学習により深まった学びや個の変容が振り返りに表れ、児童生徒の学びに対する意欲や深まりを見取ることができました。

先生の声

アンケートより

学習を振り返ることで学んだ内容がよく理解できたり、自分に合った学習方法を確認できたりします。

	R1年度	R2年度
	80.4%	83.5%

○家庭教育支援アドバイザーの関わり



児童生徒との関わり、我が子との関わりに悩んでおられる先生や保護者の方には、とにかく本人を認めて受け入れることをお勧めしました。その結果、生徒Aは授業中の不適切発言が減り、勉強に集中できるようになったことで将来の夢を語るようになりました。

○学校・家庭での取組で表れた個の変化

児童Bの経年比較

	H30 4年時	R1 5年時	R2 6年時
学習時間	36	49	65
読書時間	6	8	15
学習+読書時間	42	57	80

先生や学級の友達に認められて嬉しかった!!